

公益社団法人 日本雪氷学会 東北支部

ニュースレター No.61

2014年度東北支部大会の開催案内

2014年度（公社）日本雪氷学会東北支部大会（理事会、総会、研究発表会）を、山形テルサ（山形市双葉町 1-2-3）にて下記の予定で開催いたします。今年の大会も、日本雪工学会北東北支部との合同開催となります。皆様のご参加ならびに研究発表をよろしくお願い申し上げます。今回、研究発表プログラムについてお知らせしますので発表予定者はご確認下さい。

開催日時：2014年5月30日(金)、31日(土)

開催場所：山形テルサ 1階 大会議室（総会、特別講演会、研究発表会）、3階 会議室（理事会）

〒990-0828 山形市双葉町 1-2-3 現地実行責任者：根本征樹

TEL：023-646-6677 FAX：023-647-0123

<http://www.yamagatateresa.or.jp/>

主催：日本雪氷学会東北支部

共催：日本雪工学会北東北支部

発表方法：発表は口頭発表です。発表時間は質疑応答を含めて1件15分です。会場にプロジェクターとパソコン(Windows 7, PowerPoint2013)を用意しますので、発表者はあらかじめUSBメモリ等からパソコンのハードディスクにプレゼンテーションファイルをコピーしておいて下さい。なお、Mac/Linuxユーザーまたはコピーに適さない動画などをご利用の場合は、ご自身で発表用のパソコンを準備して、画像信号のケーブルを繋ぎ換えることにより発表を行って下さい。

参加費（講演資料代を含む）：学会員 1,000円、非会員 2,000円

情報交換会：会場 北野水産 山形駅前店 山形市香澄町 1-8-8 山形第1ビル 2F

会費 4,000円（予定） 電話：023-624-0880

店舗 URL: <http://marutomisuisan.jp.com/kitano-yamagata/>

スケジュール：

第1日目：2014年5月30日(金)

【雪氷学会東北支部】

9:30～10:45 理事会（山形テルサ 会議室）

11:00～12:15 総会、授賞式（山形テルサ 大会議室）

【雪工学会北東北支部】

12:00～13:30 理事会・総会（山形テルサ 会議室）

【以下両学会支部合同】

13:30～14:30 特別講演会（山形テルサ 大会議室）

『山形における国道の冬道管理の状況について』～除雪・雪崩～

雫石 敏見 氏（山形河川国道事務所 道路管理第二課長）

14:40～17:15 研究発表会（山形テルサ 大会議室）

18:00～20:00 情報交換会（北野水産 山形駅前店）

第2日目：2014年5月31日(土)

9:15～12:40 研究発表会（山形テルサ 大会議室）

<研究発表プログラム>

第1日目：2014年5月30日(金)

14:40-15:55 吹雪・雪崩

座長：根本征樹（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）

1. 2014年2月の北海道中標津町周辺での猛吹雪に関する数値実験
○根本征樹・上石 勲・中村一樹（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）
2. 樹枝状雪を用いた吹雪発生の風洞実験
○小杉健二・望月重人・根本征樹（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）
3. 雪崩予防柵（吊柵）の改善に関する考察
阿部孝幸（神鋼建材工業株式会社）
4. 低気圧性の降雪により2014年2月9日に山形県西川町で発生した雪崩の特徴
○中村一樹・小杉健二（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）
5. 2014年2月の南岸低気圧により発生した関山峠の雪崩災害
○阿部修・中村一樹・佐藤研吾・小杉健二（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）

<休憩 5分>

16:00-17:15 雪氷化学・樹氷・環境・土壌

座長：石田祐宣（弘前大学大学院理工学研究科）

6. 2013/14年冬期の新庄における降水のpHとECから見た大気汚染イベント
○阿部修（防災科学技術研究所雪氷防災研究センター）・柳澤文孝（山形大学理学部）・片桐慎太郎（山形大学大学院理工学研究科）・永谷泉（農林水産研究情報総合センター）・工藤純一（東北大学大学院情報科学研究科）
7. 日本大学郡山キャンパスにおける放射性セシウム蓄積量とその経年変化
○赤田尚史（核融合科学研究所）・石原麻衣・新井悠介・辻本優里・高橋奈津・尾形大樹（日本大学工学部）・柿内秀樹（環境科学技術研究所）・奥山克彦（日本大学工学部）
8. 蔵王における雪氷現象の観測（平成25年度）
○沖田圭右・山谷睦・沼澤喜一・小林英則・原田俊明（日本地下水開発株式会社）
9. 蔵王の樹氷に関する新知見
柳澤文孝（山形大学理学部地球環境学科）
10. みやぎ蔵王えぼしスキー場における冬季土壌環境のモニタリング
佐々木裕明・○原田鉦一郎・伊吹竜太（宮城大学）

第2日目：2014年5月31日(土)

9:15-10:15 融雪・氷河

座長：本谷 研（秋田大学教育文化学部）

11. 仮想融雪槽を用いた太陽熱利用融雪実験
○石田祐宣（弘前大学大学院理工学研究科）・鎌田弘輝（弘前大学理学部）

12. 地中熱ヒートポンプによる歩道消雪施設の稼働状況 (H25 年度)
山口正敏・沼澤喜一 (日本地下水開発株式会社)
13. アンデス山脈における熱帯氷河融解量の気候変動に対する影響評価
○吉澤一樹・朝岡良浩 (東北大学大学院工学研究科)
14. アンデス HuaynaPotosi West 氷河における大気・雪氷エネルギー交換の季節変化
○朝岡良浩 (東北大学大学院工学研究科)・山崎 剛 (東北大学大学院理学研究科)・Gonzalo LEONARDINI・Edson RAMIREZ (サンアンドレス大学水理研究所)

10:15-10:45 教育・普及

座長：松村光太郎 (宮城学院女子大学)

15. 児童・生徒の雪に関する研究発表大会 30 年
小笹鉄文 (秋田雪の会)
16. 土壌凍結深の測定を通じたアウトリーチプログラム (2013-14 年冬季)
○原田鉦一郎 (宮城大学)・吉川謙二・岩花剛 (アラスカ大学フェアバンクス校)・澤田結基 (福山市立大学)・Julia Khalilova (IEG, RAS)

<休憩 10 分>

10:55-11:55 着雪氷・降雪・雪況

座長：中村一樹 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)

17. 風速・降雪種依存性を考慮した着雪密度推定の検討
○佐藤研吾・望月重人・小杉健二 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)
18. 建築物の壁における着雪と融雪に関する実験的研究
○松村光太郎・林基哉 (宮城学院女子大学)・佐藤研吾・小杉健二・望月重人 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)
19. 2013-14 冬季の秋田県内積雪分布の特徴
本谷 研 (秋田大学教育文化学部)
20. 平成 26 年(2013/14 年)冬季の豪雪における新庄の積雪変化について
○望月重人・小杉健二・根本征樹・中村一樹・佐藤研吾・阿部修 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)

11:55-12:40 積雪・冠雪・雪害

座長：原田鉦一郎 (宮城大学)

21. 立木密度と雪の移動に関する模型実験 (I)
○堀 和彦 ((株)寒河江測量設計事務所)・井良沢道也(岩手大学農学部)・松嶋秀士・河合慶直 ((株)ビーセーフ)・阿部修・望月重人 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)
22. 大雪で破損した幕構造建築物周辺の積雪調査
○中村一樹・阿部 修・佐藤研吾 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)
23. ビニールハウスの側壁の堆雪形状について
阿部修 (防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)

会場案内

会場:

山形テルサ

〒990-0828

山形市双葉町 1-2-3

TEL:023-646-6677

FAX:023-647-0123

交通案内:

○JR 山形駅西口より徒歩 3 分

駐車場について:

○会場周辺にはいくつかの**有料駐車場**がございます。

○山形駅西花笠パーキングは 270 台程度収容可能です。

- ・ご利用時間：午前 5 時 30 分から午前 0 時まで（出場は 24 時間可能）。
- ・利用可能車両：長さ 5.0 メートル，幅 2.0 メートル，高さ 2.1 メートル以下
- ・駐車料金：
短時間駐車-最初の 1 時間 200 円，超過 1 時間ごと 100 円
長時間駐車-9 時間目から 18 時間まで 1,000 円，超過一時間ごとに 100 円

※ただし，駐車台数には限りがございますので，公共の交通機関もご利用くださいますよう，お願いいたします。



P : 山形駅西花笠パーキング **P** : 民間駐車場

総会，特別講演会，研究発表会会場：1階 大会議室（下図，13番）

1階見取り図

1. テルサホール（1階席）
2. 舞台
3. グリーンルーム
4. 楽屋（2室）
5. キッズルーム
6. 管理事務室
7. 社団法人山形市シルバー人材センター
8. ハローワークプラザ やまがた
9. エントランスホール
10. レストラン テルサ
11. テルサホール・ホワイエ
12. クローク
13. 大会議室（総会，研究発表会会場）



理事会会場：3階 会議室（下図，5番）

3階見取り図

1. アプローチ
2. アプローチ・ホワイエ
3. 研修室B
4. 特別会議室
5. 会議室（理事会会場）
6. 交流室B
7. 研修室A
8. 交流室A
9. シャワー室
10. 控室



発表者の皆様へ

「東北の雪と生活」本原稿の提出：

- 提出期限 6月13日(金)
- 本原稿は「東北の雪と生活」に掲載されます。A4版 camera ready、6ページ以内で作成してください。投稿原稿のフォーマットは別紙を、投稿規程は支部 web サイトをご参照ください (http://www.seppy.org/~tohoku/journal_kiyaku.htm)。原稿の種類(論文, 報告, 解説, 資料, その他)を必ず明記してください。封書には【原稿在中】と朱書き願います。講演要旨と同様に、電子メールによる pdf ファイルも受け付けます。
- 誌上発表のみも受け付けます。本原稿を投稿する際には、誌上発表のみである旨を明記下さい。

本原稿の提出先：〒036-8561 青森県弘前市文京町3

弘前大学理工学研究科 石田 祐宣

電話&FAX:0172-39-3621

E-mail: ishida@cc.hirosaki-u.ac.jp

発行：(公社)日本雪氷学会 東北支部 事務局

発行責任者：根本 征樹

〒996-0091 山形県新庄市十日町高壇 1400

(独)防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 新庄雪氷環境実験所 気付

電話：0233-22-7550 FAX:0233-23-3353

Email: mnemoto@bosai.go.jp